

同窓会百周年特別記念号

2003. 4. 1 第17号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
同窓会

高崎市稲荷町20 電話 (027)362-2585

発行責任者 齋藤 民

印刷所 ほその印刷

わたしたちの同窓生

《104周年》

会員数 29,861名

平成15年4月1日 現在



同窓会報

椎の樹

同窓会百周年に乾杯!



いっぱいの感動をありがとう



ごあいさつ

同窓会長 齋藤 民

高女同窓会員の皆様平成十五年の新しい年をご健勝でお迎える事とお喜びいたします。昨年来、地球のあちこちで落ち着かない事件ばかりおこっております。特に我が国にとって近い国との痛々しい関係が、次から次とおこり不安にかり立てられております。しかし私達一人一人が、自分のおかれている環境の中で精いっぱい生きてゆく事が大切でありますので、是非本年も明るく前向きに良い年として努力してゆきたいと思っております。同窓会も平成十四年三月一日、新入会員を受け入れ年齢層の厚い益々重みのある会となりました。五月一日の同窓会総会では「山口聡」

先生から「高女創立のころ荒木米先生を中心として」という貴重なお話を聞き、創立の頃の新鮮で進取的な先生方や学校の雰囲気感激を新たにいたしました。平成十四年はご承知の様に同窓会の百周年にあたります。平成十一年母校の創立百周年には、同窓会ではすべて同窓生による邦楽・洋楽の演奏会を群馬音楽センターで催し、他方、書道・絵画・手工芸・華道の展示会お茶席をもうけ、シテイギヤラリーを一週間借り切って開催いたしました。この度の同窓会の百周年は旅行とドッキングさせ場所も水上での式典となりましたので、どうなるかと思っております。

「できた人」

校長 今井 優



外部の方から、時々、情報が寄せられることがある。先日、こんな指摘を頂いた。ある交差点で、通行を妨げるように自転車に乗った数人の女子高生がいた。注意したところ、注意を無視するかのよう

に走り去ってしまったというのである。後をつけたところ、本校の近くで見えなくなつたという。本校の生徒ではないかということ、わざわざ学校まで見られた。そのことを聞いたとき、なにかの間違いではと思つた。

しかし最近経験することであるが、マナー等で注意すると、聞こえない振り（おそ

ました。当学期高26回と旅行委員会を中心とした常任幹事会の皆さん等（三十七名）が実行委員となり、計画・企画・運営と真に綿密に美事に実行してくださり頭の下がる思いでした。参加者も予想を上まわって三百名近くバス七台という壮観でございました。式典には今井校長先生、長尾教頭先生、荻原事務部長様わざわざ遠方までお出かけいただき華を添えていただきました。式典の中の「思い出を語る」七名の方々の話にご参加の皆様、ご自分の学生時代を結び合わせ感無量の様で好評でございました。ご参加下さった皆様、実行委員の皆様、邦楽・合唱でご参加下さった皆様、ほんとうに有難うございました。本年もまたご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

品位などのすぐれた「できた子」の教育を「できた子」に共にそなえる教育を忘れないようにしたいと強く思う。最初、暗い話題になったが、高崎駅で道に迷った方を、丁寧に案内してくれた生徒、和田橋付近の堤防で転倒した老人を、わざわざ土手から降りてきて助けてくれた生徒、これら生徒に対し、温かい言葉等を多くいただいていることを申し添えておきたい。最後になりましたが、高女同窓会のみならずの発展をご祈念申し上げます。



新校長 中川 尚幸

昭和二十一年生まれ
下仁田町出身 吉井町在住
富岡高校、早稲田大学卒
国語科の教諭として、太田高、高崎高、富岡高、県教育委員会、学校指導課、総合教育センター、生涯学習センター、下仁田高校校長
趣味：音楽鑑賞、オーディオ

平成十四年五月一日、母校椎樹館におきまして、同窓会総会が、百五十二名の参加のもと開催されました。定刻より少々遅れましたが、吉村副会長の開会の言葉で総会は始まりました。続いて斎藤民会長が挨拶され、その中で、今年同窓会百周年の記念式典を旅行と一緒に水上で行う事等が話されました。その後、今井校長、田島PTA会長、長坂教育振興会長より御祝辞をいただき、その他の来賓の方々を紹介の後、議事にはいりました。平成十三年度事業報告、会計決算報告、維



同窓会総会
平成十四年五月一日/母校 椎樹館にて

持費及び会計監査報告がとどこおりなく進み、平成十四年度の事業計画と予算案が承認されました。この十四年度の事業計画の中では、同窓会百周年記念式典の時間や内容等が詳しく紹介されました。尚当日、式典・旅行の申込みを受け付けましたところ、日帰り四十二名、宿泊二百一十一名の参加者数となり、うれしい驚きとなりました。更に、京浜地区同窓会の林会長と当番期の方より同窓会へのお誘いがあり、最後に、全員で校歌を合唱し、吉野副会長の閉会の言葉で無事終了致しました。

思い出を語る

金井幸子 (高3回)

同窓会百周年を祝うに当たり、その一つとして式典の中で長い歴史の歩みを思い出として語ろうという事が話し合



↑母校の歴史が鮮やかによみがえる

われ、実行委員の中の7名が発表する事になりました。

式典当日、三百余名の同窓生の集いの中で、まず最初に斎藤氏(女26)同窓会長が、第1回卒業生の近藤すみさんのありし日のお姿や、高女創設期の気品あるしかも楽しい学校生活、厳しい中に暖かな御指導の先生方の事を話されました。当に高女の原点のお話を出席者一同感動して伺いました。

続いて熊倉京子(女37)さんは、高女に29年間体育科の教師として勤められ、その間に5月1日の開校記念日に御参集の先輩方から伺った思い出を話されました。「一里以内は歩きなさい。」という先輩の言葉の紹介には会場の皆さんも大きくうなづいていらつしやいました。また母校をとりまく椎の木や藤棚等多くの植木を大事に育て守った用務員の森山さんの思い出も

語られました。

2・26事件、日支事変の勃発等内外情勢は不穏な時代に突入していましたが、女学生として礼儀正しく上品にと矚られ古き良き時代だったと話されました。或る日の時間表を「ソノ、ソノ、ブル、カン、ヒス、モジャ」と先生の二ツクネームで話され会場に大きな笑いがおきました。

高3回卒の私は入学の年に敗戦、そしてアメリカの指導による教育の自由主義化で様々な改革を体験しましたが、特



↑蘇える思い出に感無量の同窓生!

に学制改革について話しまし。新制高校の誕生によって附設中学校卒の證書も頂き高女に6年間在学した学年、卒業式を3回体験した学年、4年間下級生不在の学年等大波にゆさぶられた女46・47・48年生、高1・2・3・4年生の事をお知らせしました。

新井京子(高6)さんからは633制の中の中学校3年生で男女共学から男子校、女子校別の高校を受験した事、高校の選択科目の授業や部活

動、100メートルバツチと呼ばれた徽章、班編成での修学旅行への取り組みの思い出が話されました。

最後に潮久美子(高25)さんはあこがれの高女に入学し、一流の先生方、何事にも真剣に取り組む友人、豊かな環境、輝かしい伝統に触れ、充実した学校生活だったと話され、特に、修学旅行への取り組みは一生の宝になるとまとめられました。

7名がほんの1コマずつの発表でしたが、時の流れの中で様々な女学生生活が営まれてきた事がわかり、その中で高女魂を誇りに母校と共に築いてきた百年の歳月は豊かで着実なものだと痛感しました。

アンケートより

この度の同窓会百周年の式典と旅行に参加された方にアンケートをお願いしました。ご意見・感想の一部をご紹介します。

講師紹介

角田智恵子(女39)

山口 聡 先生

(昭和9年)山形県生まれ(昭和31年)東京教育大学文学部日本史学科卒業、同年、群馬県高等学校教諭として赴任、県立桐生女子高校、県立高崎女子高校、県立中央高校に勤務、高崎女子高校では昭和38年4月から54年3月迄社会科を担当された。退職後、高崎市史編纂委員会調査員として現在活躍中。

たくみの里・吉祥寺・田園プラザ川場



↑田園プラザ川場

↓たくみの里



↑吉祥寺



↑学年毎に写真を撮りました↑

へえが残っていました。口伝ゆかりの青龍の滝が趣がありました。赤く色づいた紅葉が池に映える様は風情がありました。季節を違えて白百合の頃に来てみたい再発見の土地でした。



最後に、「田園プラザ川場」に立ち寄り、物産館やミルク工房等を自由に散策して、帰途に着きました。この旅行の綿密なプランを練り、お世話を下さった幹事の方々の御苦労を思うと感謝の念に堪えません。

総会記念講演 「高女創立のころ—荒木米先生のこと—」



5月1日総会の後、30年ぶりに懐かしい山口聡先生の講義をうけました。先生は大変研究熱心で、在職中日本史を指導しておられました。授業は奥深くて面白く、先生は「個人を通して歴史を探究すること」に興味を感じておられるのだそうです。高女在職中に、現在「松樹館」に収蔵されているたくさんの古い生徒作品を知り、指導されておられた荒木米先生に研究心をそそられたそうです。

最初、

荒木米先生は、明治35年から10年間美術の教師として教壇に立たれました。その人徳と熱意あるご指導で、生徒達はたくさんの作品を画きました。また先生は志が非常に高い方で、在職10年目に夫を亡くされましたが、息子を母に預け単身上京して荒木寛敏先生の家に寄宿し画道に励まれました。師が亡くなった後

月畝という画号で身を立て、門人も多く画家として大成されました。花鳥を題材として数々の美しい作品を残されています。当時、山口先生より作品が紹介されました。縦横3m近い大作で鮮やかな薄青色の紫陽花が描かれ、その圧倒されるような迫力に先生の意欲を感じました。足利市の屋敷跡に門人や教え子達により、顕彰の碑が建てられています。

山口 聡 先生 (昭和9年)山形県生まれ(昭和31年)東京教育大学文学部日本史学科卒業、同年、群馬県高等学校教諭として赴任、県立桐生女子高校、県立高崎女子高校、県立中央高校に勤務、高崎女子高校では昭和38年4月から54年3月迄社会科を担当された。退職後、高崎市史編纂委員会調査員として現在活躍中。

◆雪降りの後で、諏訪映の散策が出来ず残念でしたが、紅葉と雪景色が楽しめました。◆朝、部屋より見た景色の美しかったです。夢のようでした。すばらしい行事と共に、大きな喜びとして忘れることはないと思います。折にふれて思い出し、元気に暮らしてゆきたい。



↑百周年記念行事実行委員の方々

奇藤 民 角田智恵子 吉村晴子 吉野烈子 熊倉京子 松原康乃 村田喜代子 吉村節子 佐藤寿子 望月清世 金井幸子 吉原照子

華やかに和やかに！ 高女同窓会百周年記念行事



記念式典

11月10日午前10時、薄陽の射す中、高崎駅東口から7台のバスが、総勢三百余名の同窓生を乗せ、次々と水上に向かって出発しました。赤城高原インター付近から空が曇り始めましたが、車中はそんな



→母校の学校長・教頭・事務部長の三氏が来賓としてご出席

天候をものともせず、陽気で和やかなムード！昼食の為に立ち寄った道の駅「水上・水紀行館」では風花が舞って私達を迎えてくれました。あまり有難くない歓迎でしたが、ホテル水上館到着後、記念撮影。続いて2時から7F谷川において、華やかに記念式典が開始されました。吉村副会長による開式の辞・黙祷・同窓会長式辞・来賓祝辞と式典は厳かに進行していき、7人の同窓生が自分の学生時代を振り返る「思い出を語る」では、各パネリストのそれぞれに浮かび上がり、とても印象的でした。パネリストの方々は、斉藤民(女26)・熊倉京子(女37)・角田智恵子(女39)・吉村節子(女46)・金井幸子(女63)・新井京子(女6)・潮久美子(女25)の各氏でした。それぞれの時代を反映したお話は、いづれもおもしろく、興味深いものでしたが、特に吉村さんの戦時下の困難な学生生活の回想に涙を流している同窓生もいました。金井さんの戦後の混乱期、学制改革に翻弄された青春時代の思い出も興味尽きないものでした。その後同窓会合唱団による「女声のためのシャンソネット」より、「I Love You」、「ヴェマリア」、「矢車草」の三曲を指揮し、木村美知子(高19)・ピアノ指方容子(高20)の二氏の指導の下、白いブラウス、黒のロングスカートをつ纏った40名近い同窓生が、素晴らしいハーモニーで力強く美しく歌い上げました。続く邦楽の部では、「越後獅子」が舞台狭しと華やかに賑やかに舞われ、越後獅子は、越後の劇団がお祝いの席に呼ばれて、舞ったり唄ったりしたものだそうです。踊り方の6人は西川流と花柳流で、流派ごとに入れ代わって太鼓を打ち鳴らし、布直しを流麗に操り、陽気で華やかに越後獅子を舞いました。唄い方と三味線が見事なハーモニーで、賑やかに後方支援を努め、見事な舞台を見せてくれました。踊り方は、浜島蘭子(高10)・西川藤扇克栄(高14)・西川藤扇生(高18)・花柳寿名風(高18)・西川扇那(高20)・花柳寿名柚(高53)。唄い方は、杵屋六松和(女45)・杵屋六松鳳(高4)・藤間萬也(高19)。三味線方は、岡安喜彩(女45)・岡安喜絵(女46)・岡安喜久香(高8)の皆さんでした。斉藤同窓会長指揮による校歌合唱、吉野副会長による閉式の辞をもって、記念式典が終了しました。

午後5時から、6F桃源の間において、祝賀会が開かれました。三百人余が一室に会した宴会場は壮観で、楽しい会話と、美味しい食事を充分に堪能しました。宴たけなわ幹事さん達が同窓生達とジャンケンをし、勝った人にプレゼントを渡す趣向もおもしろく、元気のない万歳の掛け声がいっつもでも耳に残った一夜でした。



↑高女同窓会合唱団「女声のためのシャンソネット」より3曲



↑「越後獅子」女46～高53幅広い同窓生による邦楽

祝賀会



お楽しみのおくじ引大会で今井校長が一等賞！女45の方々のご指導で健康体操も！皆さん目で耳で舌で大いに楽しみました。

↑祝宴・お楽しみ時間を大いに盛り上げてくれた方々



←皆様の笑顔がはちきれそう

紅葉の上州路 散策の旅



群馬再発見の旅
大久保恵利子(高27回)
11月11日、同窓会百周年記念式典、祝賀会に引き続き、

「紅葉の上州路・散策の旅」がスタートしました。前夜のお湯の温もりを残しながら、利根川の流れを眼前に望む水上館ロビーからの始まりでした。

まず、新治村の「たくみの里」に向かいました。新治村がむらおこしとして、手工芸の技術者を集め創った「体験型むら」でした。和紙の家、木織やマツチ絵、押花の家まで、通り沿いに坪数は小さいけれど体験ができ、味わいのある作品が並び、まさに、匠たちの住む里でした。

さらに驚いた事に、通りは生活道にもなっていました。須川小学校があり、脇の水路では取れたての大根を洗う人を見掛けました。生活と観光が共存するむらでした。

「手考足思」という言葉を知った事がありますが、実際に手を使って試してみても、現場で物を考えていく姿勢を改めて思い返しました。

通りの先には、雪景色の谷川岳がくっきりと見え、近隣の山々の紅葉とのコントラストが鮮やかでした。

続いて、川場村の吉祥寺に参詣しました。精進料理は美味でした。二百名を超える参加者でしたから、古月庵と本堂で頂きました。

掛軸のしつらいも見事で、寺のもてなしの心に触れ暖かな心持ちになりました。

この寺は、出逢いの寺とも言われ、利根庄の「河波姫」と頼朝が出逢ったと言い伝へ、

→バスは全部で7台

同窓会 総会開催の お知らせ

陽春の候、同窓会の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。同窓会も百周年行事を無事に終え、新たな一歩を踏み出しました。今年のご参加を心よりお待ちしております。
日時 5月1日(木)14時
場所 母校 椎樹館和室
講演 「昭和二十年代の高女」
講師 久保田浩司先生

母校の近況

本年度より新教育課程になり、総合的な学習の時間「思惟の時間」が始まります。
◎卒業生の進路状況(延べ人数)
国立大107名、公立大21名、私立大527名、短大12名、専修各種20名、その他8名。

●教職員人事異動

◇退職された先生
校長 今井 優 先生
地歴 田嶋 亘 先生
◇転出された先生(敬称略)
国語 清水 博 (太東)
英語 徳田 貴子 (前南)
英語 松本 秀樹 (前橋)
事務 堀口 ほづみ(赤城養)
事務 須田 洋子 (高東)
公仕 須本 邦男 (新田曉)



事務局だより

5 / 1(木)	総会
6 / 13(金)~14(土)	椎樹祭参加(写真班)
9 / 1(月)	旅行申込日
10 / 19(日)	旅行
2 /	新年会
3 / 1(月)	同窓会入会式
4 / 1(木)	会報18号発行

※会議

- (1) 常任幹事会
- (2) 期別幹事委員会
- (3) 旅行企画委員会
- (4) 会報編集委員会
- (5) 名簿委員会
- (6) 合唱団運営委員会
- (7) その他

◇転入された先生(敬称略)

校長 掛川 尚幸 (下仁田)
国語 原澤 弘子 (渋川)
地歴 関口 俊邦 (沼田)
英語 平林 勉 (藤岡)
英英語 悴田 利行 (榛名)
事務 山本 朱美 (入野小)
事務 植原 悟 (伊工)
公仕 斎藤 恵美 (前西)
田部井 文夫(新田曉)



女19回岸ヒロ様が平成十四年八月にお元気で百歳になられ、おめでとうございます。

◇転入された先生(敬称略)
校長 掛川 尚幸 (下仁田)
国語 原澤 弘子 (渋川)
地歴 関口 俊邦 (沼田)
英語 平林 勉 (藤岡)
英英語 悴田 利行 (榛名)
事務 山本 朱美 (入野小)
事務 植原 悟 (伊工)
公仕 斎藤 恵美 (前西)
田部井 文夫(新田曉)

新春恒例の宮中行事、歌会始の儀で選ばれた関さんの歌は、これまでの自分の人生を支えてくれた多くの人への感謝の思いと「町」のイメージを重ねたもので、故郷で暮らしてきた家族への思いを詠み込んだ作品です。
陛下から仕事について尋ねられた関さんは、終了後「夢のように、一生の思い出になる。貴重な経験を学校の生徒たちにも伝えていきたい」と振り返りました。

歌会始の儀

入選おめでとうございませう
関 弘子さん(高23回)

坂のある町が好きだと言ふ君の
声柔らかに響けり

平子恵美子さん(高12回) 藍綬褒章
平成十四年十一月
前橋家庭裁判所調停委員
昭和五十五年より現在に至る

山本静江さん(高11回) 勲六等宝冠章
平成十四年十一月
看護業務功勞により受賞されました。元群馬大学医学部付属病院看護部看護婦長

新年会開催

多胡五月(高26回)
恒例の新年会が、二月九日二百七十名の同窓生の参加を得て、高崎ビューホテルで開催されました。
始めに、斉藤民先生の御挨拶がありました。続いて、今井校長先生と長尾教頭先生から御祝辞をいただき、百年の伝統を守りつつ、新教育課程の中で熱心に学ぶ現高女生の様子を伺うことができました。



荻原事務部長の乾杯で祝賀が始まり、ジャンケンゲームの余興をはさみながら、それぞれ懐かしい思い出話などの話題に興じた後、アトラクションへと移りました。
始めは、澤田まゆみさん(高44)によるすばらしいピアノ演奏で、ドビッシューの「塔」のワルツ、「英雄ポロネーズ」などの曲を聞きました。
その後、同窓会合唱団が指揮 揮木村美知子さん(高19)・ピアノ伴奏 指方容子さん(高20)で、すばらしいハーモニを披露して下さいました。最後は、合唱団を中心に、「ともしび」・「荒城の月」の全員合唱を行いました。
続いて、事務局から、諸連絡、次年度の同窓会親睦旅行のお知らせがあり、高26期と高27期の引き継ぎが行われました。

最後に校歌合唱をした時には、年令を越え出席者全員が同窓生として心が一つになったことを実感した瞬間でした。

北から南から

・同窓会誌「椎の樹」をお送り下さいます。有り難うございました。毎年の何よりの楽しみです。母校益々の発展を嬉しく感じております。
岩国市 中山秀子(女23)
・阪神大震災の折はいろいろお心遣いいただき有り難うございました。あれから七年たち、街中もきれいになり観光客も増えた様です。椎の樹会

報のお便りなつかしく、時々出して読んでおります。
兵庫区 森田鈴子(女39)
・若かりし頃の学び舎が文化会館や図書館となり、昔の面影もございません。でも椎の木だけは往時を偲ばせ、なつかしさ一入りでございます。
松井田町 新井和子(女43)
・お世話様になります。年を重ねておりますが、元気で松井田町 小此木ふん(女47)
・同窓会報をありがとうございます。校長先生の「認められた高女の心」を、わが娘のこのようにうれしく拝見いたしました。
杉並区 西村慶子(高3)
・椎の樹」なつかしく拝読致しました。斉藤民先生には私達「姉妹四人」御指導いただきました。いつまでもお元気に御活躍とて嬉しいです。
中野区 北本壽美香(高5)
・母校のあった末広町の図書館へは時々行ってお世話になっております。当時から大木や庭の石碑を見ながら、五十年たった今、昔をしのんでおります。

入会のことば
桃の花が香り始め、春の息吹の感じられるこの良き日に、私達三百二十一名は、無事卒業式を迎えることができました。三年前に高女に入学した日から、今日までの高女の生活は、とても早く過ぎ去りました。その中で、私達は高女の伝統を全身に感じながら、高女生としての誇りを胸に一日一日を過ごしてきたように思います。また、この学舎で素晴らしい友人や師を得たことは、最も大きな収穫であり、卒業後の人生の大きな支えとなることでしょう。
今、私達は高女同窓会の入会式に臨み、高女の長い伝統の一端を担い、それを受け継いでゆくことに対し、責任と誇りを強く感じています。高

◆同窓会百周年記念号をお届けします。昨秋十一月十日、十一日、式典と祝賀会に続いての旅の道は、小春日和に恵まれて、雪化粧した遠く山と秋の色を止めた近くの木々が、静かな光をうけて暖かく参加された方々の醸し出す優しいに、勿体ない様なひとときの平和が「ここ」に有る事を心から感謝いたしました。地球上には何時も何処かで争いが絶えず、国際的テロへの不安も依然続いています。平和に翼があつたならば、それは童話の世界でしか考えられない事なのではないでしょうか。
◆会報へのご意見、おたより文芸作品、期別だより等お寄せ下さい。お待ちしております。
編集委員長
吉野烈子(高9回)

京浜同窓会開催

第五十一回京浜同窓会は七月十四日に催されました。当日は抜ける様な青空が広がり、お台場のホテル日航東京は暑い中にも潮風が心地よい一日でした。
林京浜会長の今までの歩み、角田同窓会副会長のご祝辞、今井校長先生の高女の現況のご報告、熊倉先生の乾杯で祝宴は始まりました。
初夏の特別コース料理を頂きながら、恩師の関沼先生、角田先生、武井先生、遠田先生のお話を伺いました。
デザートタイムに27回生のオペラ歌手、木下裕子さんの歌、長坂順子さんの伴奏によるミニコンサートが行われました。トークを交えながらの



平成十五年三月三日
新入会員代表 大江晴夏



◆同窓会百周年記念号をお届けします。昨秋十一月十日、十一日、式典と祝賀会に続いての旅の道は、小春日和に恵まれて、雪化粧した遠く山と秋の色を止めた近くの木々が、静かな光をうけて暖かく参加された方々の醸し出す優しいに、勿体ない様なひとときの平和が「ここ」に有る事を心から感謝いたしました。地球上には何時も何処かで争いが絶えず、国際的テロへの不安も依然続いています。平和に翼があつたならば、それは童話の世界でしか考えられない事なのではないでしょうか。
◆会報へのご意見、おたより文芸作品、期別だより等お寄せ下さい。お待ちしております。
編集委員長
吉野烈子(高9回)

平成15年高女同窓会 親睦旅行へのお誘い

秋のわたらせ渓谷鉄道に乗って
芸術と伝統文化にふれる旅

期日 平成15年10月19日(日)
費用 15,000円
定員 50名(バス1台)

行程
高崎駅東口 → 富弘美術館見学 → 神戸駅 → (8:15)
→ わたらせ渓谷鉄道 → 大間々駅 →
→ お楽しみランチ → 栗田美術館見学(定利市)
→ ココ・ファーム・ワイナリー → 高崎駅東口解散(19:00頃)

申込方法
期日 平成15年9月1日(月)10時~15時
場所 母校椎樹館
*現金を添えてお申込ください。口座振替による申込も可能です。詳細は後日お知らせします。
皆様のご参加を心からお待ちしております。
お問い合わせ 旅行委員
高27期 横山美津子 TEL.027-361-0721
高27期 都丸 茂子 TEL.027-252-1365

- ◆同窓会百周年記念号をお届けします。昨秋十一月十日、十一日、式典と祝賀会に続いての旅の道は、小春日和に恵まれて、雪化粧した遠く山と秋の色を止めた近くの木々が、静かな光をうけて暖かく参加された方々の醸し出す優しいに、勿体ない様なひとときの平和が「ここ」に有る事を心から感謝いたしました。地球上には何時も何処かで争いが絶えず、国際的テロへの不安も依然続いています。平和に翼があつたならば、それは童話の世界でしか考えられない事なのではないでしょうか。
◆会報へのご意見、おたより文芸作品、期別だより等お寄せ下さい。お待ちしております。
編集委員長
吉野烈子(高9回)
- 編集委員会
斉藤民(女26) 角田智恵子(女39) 吉村晴子(高5) 吉野烈子(高9) 吉村節子(女46) 金井幸子(高3) 岡田俊子(高4) 善如寺尚子(高17) 設楽多恵子(高18) 武井治子(高19) 網島千栄子(高19) 斉藤信子(高20) 丸山ちひろ(高21) 田中和子(高22) 福田和子(高23) 宮尾志津子(高24) 林いづみ(高25) 滝川澄子(高26) 広瀬節子(高26) 冬木嘉子(高27) 多胡雅江(高27) 谷幸子(高27) 堀口まゆ子(高19) 羽鳥君子(高31)